



もっと豊かな情報未来へ
アルシー・ソリューション

InterSafe **CATS** Ver4.6 コンフリクト 回避策

2017年11月6日
製品サポート部
IAMサポート課

アルシステムインテグレーション株式会社

Copyright Alps System Integration Co., Ltd. All rights reserved.

- TREND MICRO ビジネスセキュリティ(バージョン9.0)
- ウイルスバスター ビジネスセキュリティサービス(バージョン6.0)
- Symantec Endpoint Protection 14
- Kaspersky Endpoint Security 10 for Windows
- カスペルスキー セキュリティ 2017
- McAfee Endpoint Protection Essential
- マカフィートータルプロテクション 2017
- ESET パーソナル セキュリティ V10
- Windows Intune
- Skype
- iTunes/iCloud

【事象】

ビジネスセキュリティクライアントのスマートスキャン使用不可となる

[発生条件] CATSクライアントとビジネスセキュリティ同居時

[回避策] 回避策1、回避策2のどちらかを設定する

■回避策1: HTTPS除外ホストに以下を登録する

***icrc.trendmicro.com**

■回避策2: フィルタリング無効アプリケーションを有効にして無効アプリケーションに以下を登録する

NTRTSCAN

[事象発生時の画面]

The screenshot shows the Trend Micro Business Security interface. At the top, a red-bordered box highlights a message: "スマートスキャン使用不可" (Smart Scan cannot be used) with the subtext "インターネット接続を確認してください" (Please check your internet connection). Below this, the interface displays several status sections: "ウイルス/不正プログラム" (0), "スパイウェア/グレーウェア" (0), "予約検索" (無効), and "ウイルスパターンファイル" (13,329.00). A "検索" (Search) button is visible next to the first two sections, and an "アップデート" (Update) button is next to the "予約検索" section. At the bottom, there is a navigation bar with icons for lock, status, settings, and help. A tooltip in the bottom right corner provides details: "ビジネスセキュリティクライアント (オンライン)" (Business Security Client (Online)), "リアルタイム検索 (有効)" (Real-time search (Enabled)), and "スマートスキャン (接続中)" (Smart Scan (Connecting)). A "カスタマイズ..." (Customize...) button is also visible at the bottom.

ウイルス/不正プログラム 0
2017/03/26 (日) 14:15以降

スパイウェア/グレーウェア 0
2017/03/26 (日) 14:15以降

予約検索 無効
予約検索は無効になっています

ウイルスパターンファイル 13,329.00
前回のアップデート: 2017/04/10 (月) 14:17

検索

アップデート

管理者への問い合わせ

TREND MICRO SMART PROTECTION

ビジネスセキュリティクライアント (オンライン)
リアルタイム検索 (有効)
スマートスキャン (接続中)

カスタマイズ...

【事象】

ウイルスバスタービジネスセキュリティサービスクライアントのスマートスキャン使用不可となる

[発生条件] CATSクライアントとウイルスバスタービジネスセキュリティサービス同居時

[回避策] 回避策1、回避策2のどちらかを設定する

■回避策1: HTTPS除外ホストに以下を登録する

***icrc.trendmicro.com**

wfbs-svc-nabu.trendmicro.com

■回避策2: フィルタリング無効アプリケーションを有効にして無効アプリケーションに以下を登録する

NTRTSCAN

[事象発生時の画面]

The screenshot shows the Trend Micro Business Security Client interface. At the top, there is a red-bordered notification box with an information icon and the text: **スマートスキャン使用不可** (Smart Scan unavailable) and インターネット接続を確認してください (Please check your internet connection). Below this, the main dashboard displays several security metrics:

ウイルス/不正プログラム	0	検索
2017/03/27 (月) 11:35以降		
スパイウェア/グレーウェア	0	
2017/03/27 (月) 11:35以降		
予約検索	無効	アップデート
予約検索は無効になっています		
ウイルスパターンファイル	13.331.00	
前回のアップデート: 2017/04/11 (火) 11:59		

At the bottom right, a status box indicates: **ビジネスセキュリティクライアント (オンライン)** (Business Security Client (Online)), リアルタイム検索 (有効) (Real-time search (Enabled)), and スマートスキャン (接続中) (Smart Scan (Connecting)). Below this is a 'カスタマイズ...' (Customize...) button.

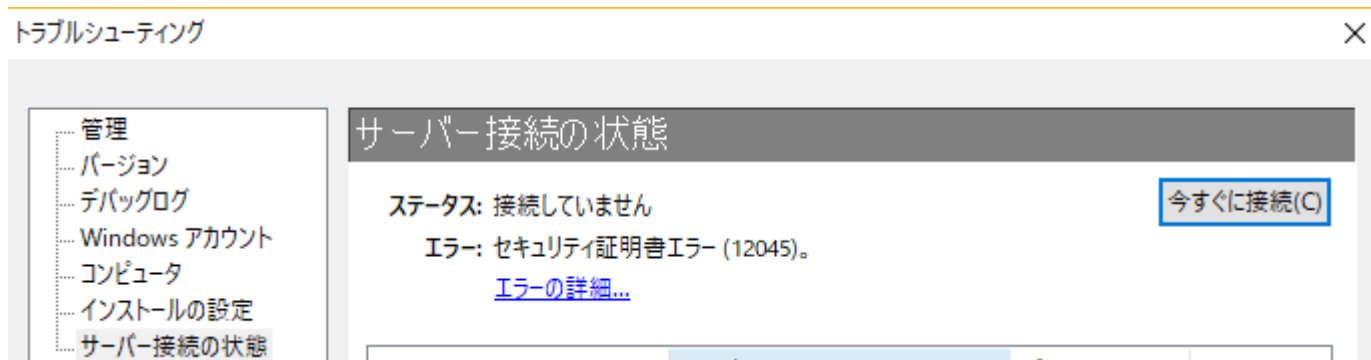
【事象】

証明書エラーでSymantecクライアントから管理サーバへの接続に失敗し、オフラインの状態となる

[発生条件] CATSクライアントとSymantec Endpoint Protection同居時

[回避策] HTTPSデコードの除外ホストにSymantec Endpoint Protection管理のサーバを設定する

[事象発生時の画面]



【事象1】

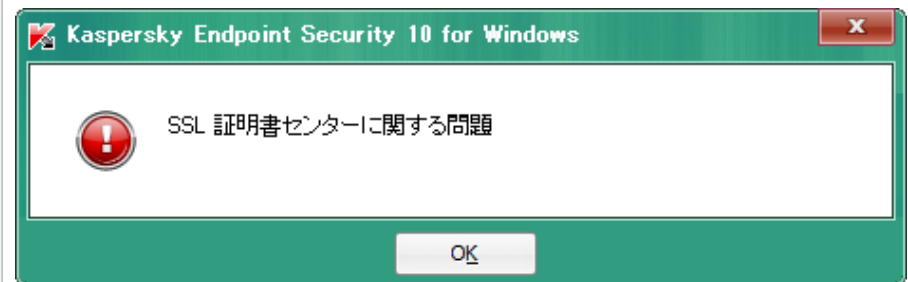
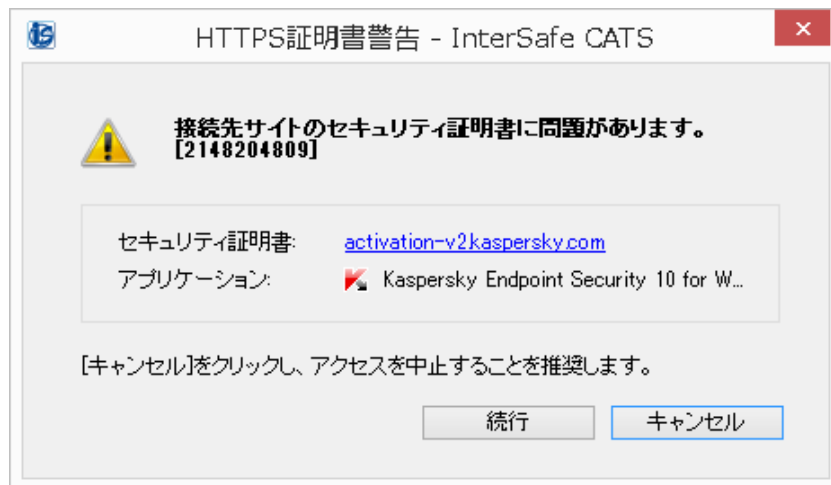
カスペルスキーのアクティベーションができない

[発生条件] CATSクライアントとKasperskyEndpointSecurity10同居時

[回避策] HTTPSデコードの除外ホストにHTTPS証明書警告ダイアログ中に表記されている、セキュリティ証明書のアドレスを登録する
activation-v2.kaspersky.com

[事象発生時の画面]

アクティベートしようとする以下の流れでダイアログが表示される



【事象2】

CATSのフィルタリングが無効になる

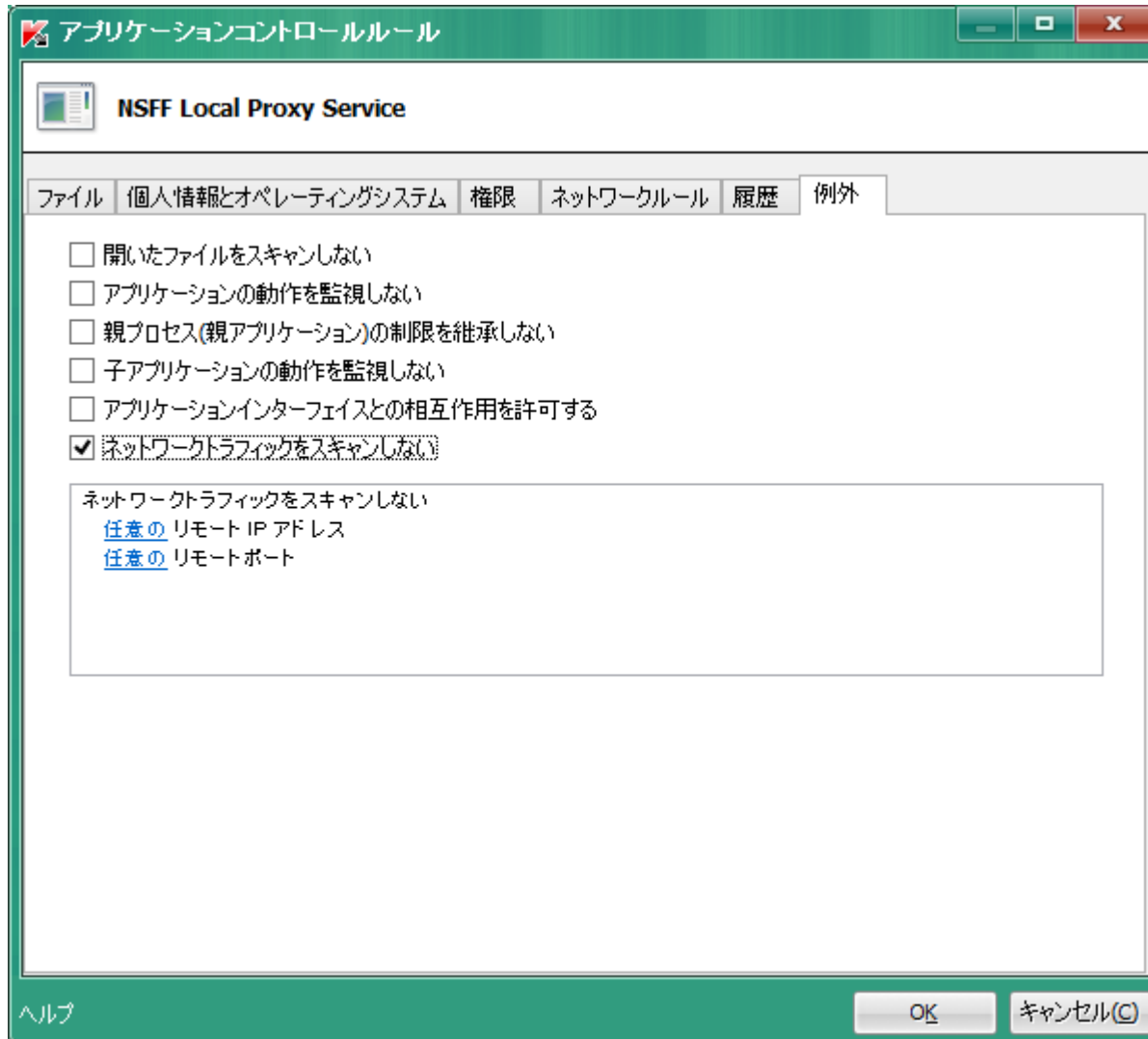
[発生条件] CATSクライアントとKasperskyEndpointSecurity10同居時

[回避策] カスペルスキー側の設定において、**NSFF Local Proxy Service**のネットワークフィックをスキャンしない設定にする

[回避手順]

- ①タスクトレイからカスペルスキーのアイコンをダブルクリックしカスペルスキー管理画面を開く
- ②「プロテクションとコントロール」をクリックして、「アプリケーションモニター」をクリックする
- ③「アプリケーションコントロール」から「**ALPS SYSTEM INTEGRATION**」を選択し、**nsffprx.exe**を選択後、[詳細設定] ボタンを押下する
- ④「例外」から「ネットワークトラフィックをスキャンしない」にチェックをつけ、[OK] ボタンを押下し、設定を反映させる

[カスペルスキー管理画面]



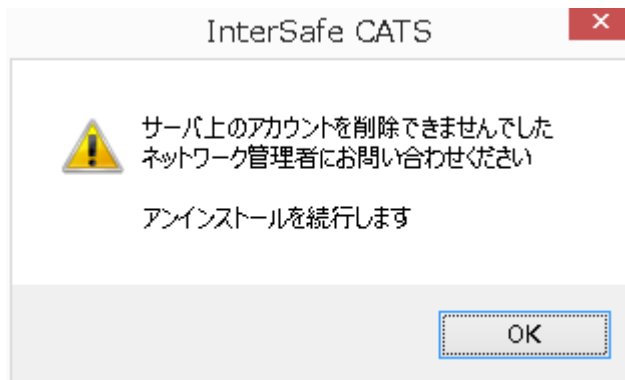
【事象3】

CATSクライアントをアンインストールしても、管理サーバ上のアカウントが削除されない

[発生条件] CATSクライアントとKasperskyEndpointSecurity10同居時

[回避策] 事象2と同じ

[事象発生時の画面]



【事象】

CATSクライアントがインストールされており、HTTPSデコードが有効な場合にカスペルスキー セキュリティ2017 のアクティベーションに失敗する

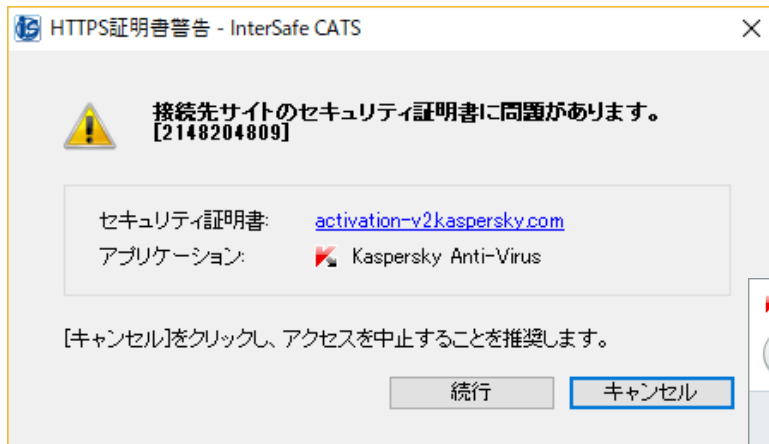
[発生条件] 次の順番でインストールした場合

- 1.CATSクライアント
- 2.カスペルスキーセキュリティ2017

[回避策] **HTTPSデコードの除外ホストにHTTPS証明書警告ダイアログ中に表記されている、セキュリティ証明書のアドレスを登録する**
activation-v2.kaspersky.com

[事象発生時の画面]

アクティベートしようとするると以下の流れでダイアログが表示される



【事象1】

McAfee Agent ステータスマニターから、[プロパティの収集と送信]、[イベントを送信]、[新しいポリシーの確認] をクリックすると、エラー「ePOサーバに接続できません。」と表示される

[発生条件] CATSクライアントとMcAfee Endpoint Protection 同居時

[回避策] HTTPSデコードの除外ホストにMcAfeeの管理サーバを除外ホストに登録する
161.69.45.170 (ah2.manage.mcafee.com、*mcafee.comなどでも可)

【事象発生時の画面】

The screenshot shows the McAfee Agent Monitor window. At the top, a green banner displays the message: "エージェント サービスは現在稼動しています。" (Agent service is currently running). Below this is a log table with columns for Date, Time, Type, and Status. The log shows a sequence of events, with an error message highlighted in red: "2017/04/... 19:08:20 エラー ePOサーバに接続できません。" (2017/04/... 19:08:20 Error ePO server cannot be connected). To the right of the log is a vertical menu with buttons for various actions: "プロパティの収集と送信(O)" (Collect and send properties), "イベントを送信(E)" (Send events), "新しいポリシーの確認(O)" (Check for new policies), "ポリシーの施行(O)" (Execute policy), "エージェントの設定(A)" (Configure agent), "コンテンツをデスクトップに保存(S)" (Save content to desktop), and "閉じる(C)" (Close).

日付	時間	種類	ステータス
2017/04/...	19:08:20	情報	Next collect and send properties in 23 minutes and 40 se
2017/04/...	19:08:20	エラー	ePOサーバに接続できません。
2017/04/...	19:08:15	情報	ePOサーバに接続しています。
2017/04/...	19:08:15	情報	エージェントが通信セッションを開始しました。
2017/04/...	19:08:15	情報	ePOサーバに PROPS VERSION パッケージを送信していま
2017/04/...	19:08:15	情報	ASCIIの実行を開始しました。
2017/04/...	19:08:14	情報	プロパティを収集しています。
2017/04/...	19:07:29	情報	アップロードするイベントを探しています。
2017/04/...	19:02:29	情報	アップロードするイベントを探しています。
2017/04/...	19:01:28	情報	エージェントが通信セッションを終了しました。
2017/04/...	19:01:28	情報	ePOサーバから POLICYパッケージを受信しました。
2017/04/...	19:01:26	情報	アップロードするイベントが見つかりません。
2017/04/...	19:01:26	情報	アップロードするイベントを探しています。
2017/04/...	19:01:26	情報	ePOサーバに接続しています。
2017/04/...	19:01:26	情報	エージェントが通信セッションを開始しました。
2017/04/...	19:01:26	情報	Next collect and send properties in 30 minutes and 34 se
2017/04/...	19:01:25	情報	エージェントが通信セッションを終了しました。

【事象2】

CATSクライアントインストール後、McAfee Agentをインストールできない

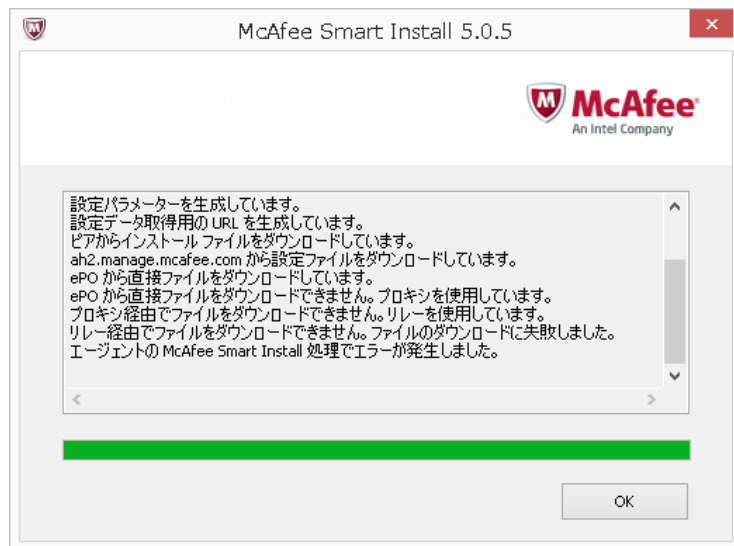
[発生条件] 次の順番でインストールした場合

1.CATSクライアント

2.McAfee Endpoint Protection

[回避策] HTTPSデコードの除外ホストにMcAfeeの管理サーバを除外ホストに登録する
161.69.45.170

[事象発生時の画面]



【事象3】

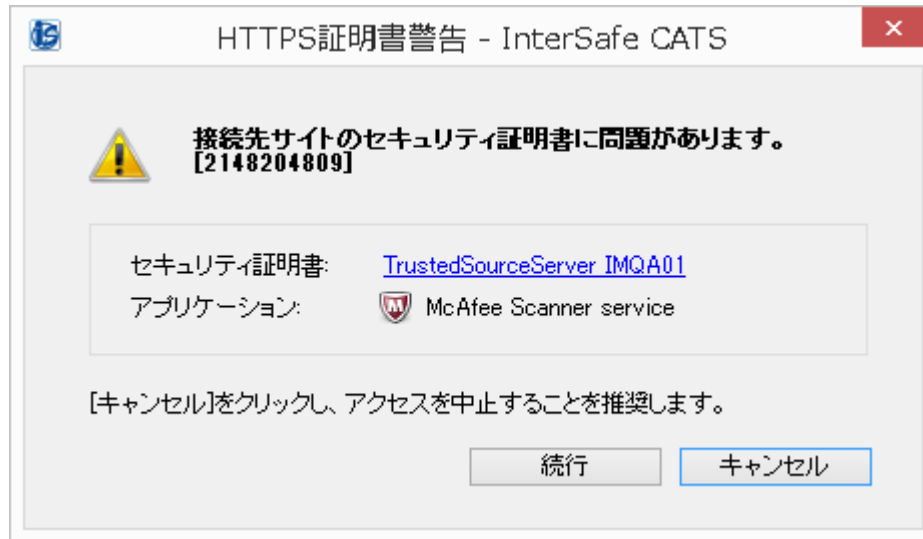
McAfee Endpoint Protectionが通信を行う場合に不正証明書ダイアログが表示される

- ・ Web閲覧時
- ・ McAfee Agentをインストール後のアプリケーションインストール中、インストール後
 - 不正証明書ダイアログが表示されたアプリケーション
 - Mcafee Scanner service
 - Anti-Malware Care Installer
 - Mcafee AMCore Updating Helper
 - Mcafee Web Control Service

[発生条件] CATSクライアントとMcAfee Endpoint Protection同居時

[回避策] HTTPSデコードの除外ホストにHTTPS証明書警告ダイアログ中に表記されている、セキュリティ証明書のアドレスを登録する
trustedsourceserver_imqa01

[事象発生時の画面]



【事象】

マカフィーータルプロテクションが通信を行う場合に不正証明書ダイアログが表示される

- ・ マカフィーータルプロテクションをインストール中、インストール後
- ・ **Web閲覧時**

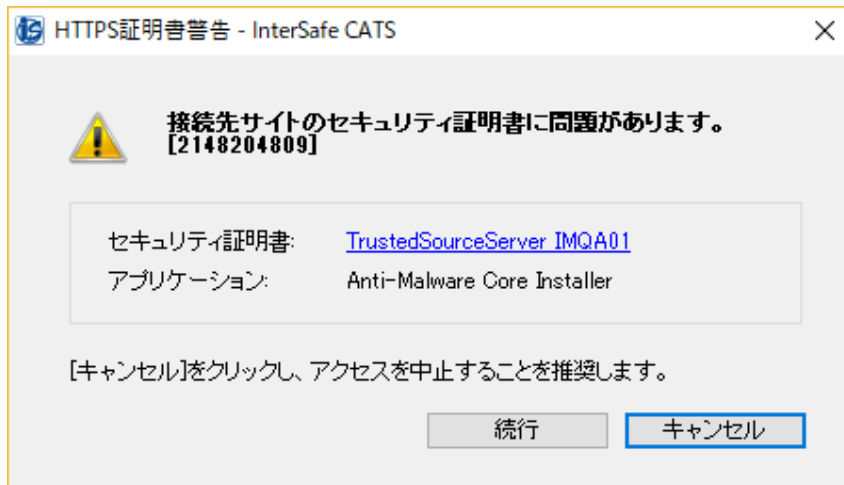
[発生条件]

- ・ CATSクライアントインストール後にマカフィーータルプロテクションをインストール時
- ・ CATSクライアントとマカフィーータルプロテクション同居時

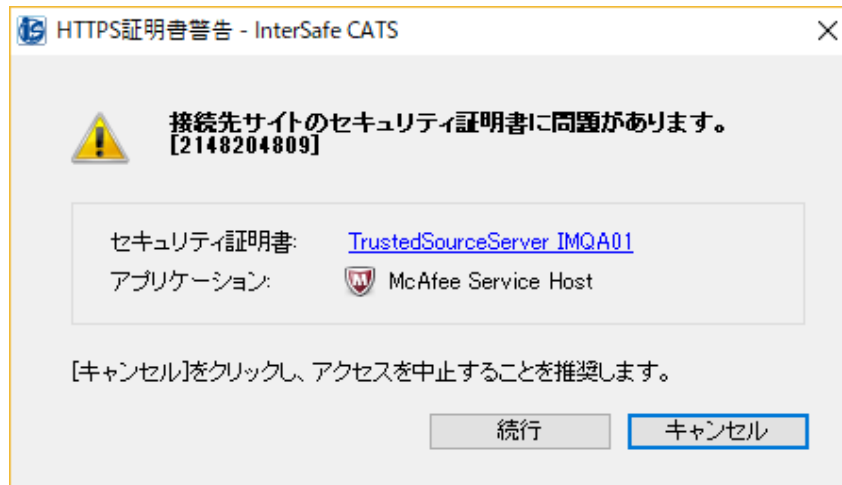
[回避策] **HTTPS**デコードの除外ホストに**HTTPS**証明書警告ダイアログ中に表記されている、セキュリティ証明書のアドレスを登録する
trustedserverserver_imqa01

[事象発生時の画面]

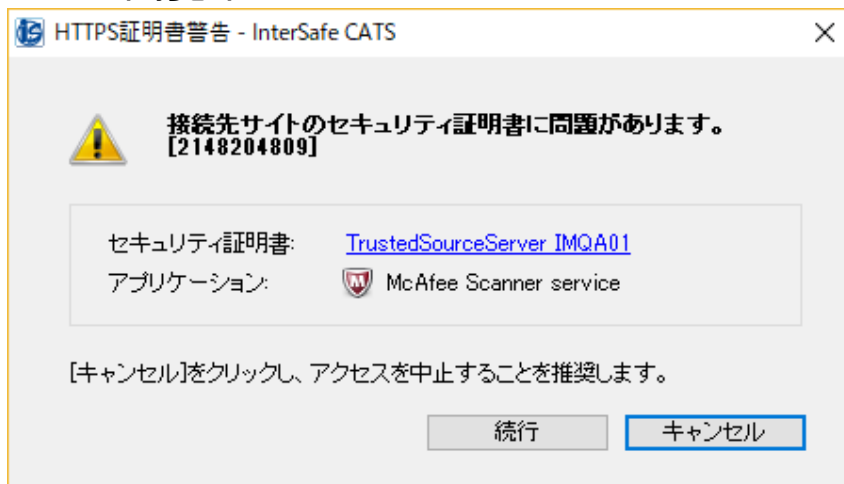
・ インストール中



・ インストール後



・ Web閲覧中



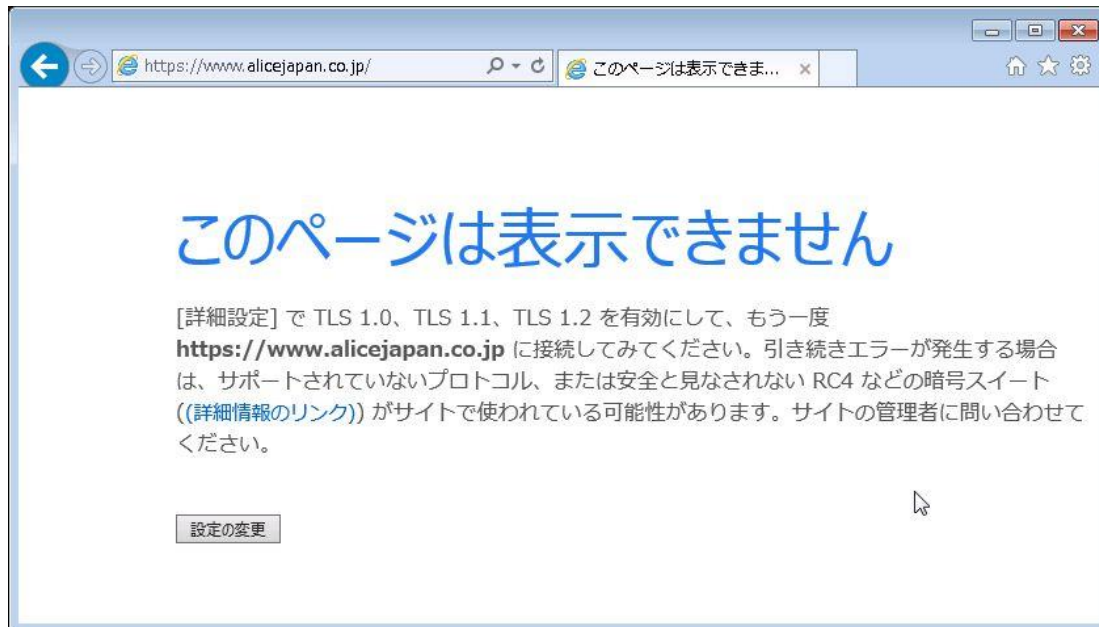
【事象】

ESETパーソナル セキュリティV10で規制、CATSで許可されているHTTPSサイトをリクエストすると、ESETパーソナル セキュリティのHTTPS規制画面が表示されずにブラウザのエラー画面が表示される

[発生条件] CATSクライアントとESETパーソナルセキュリティV10同居時

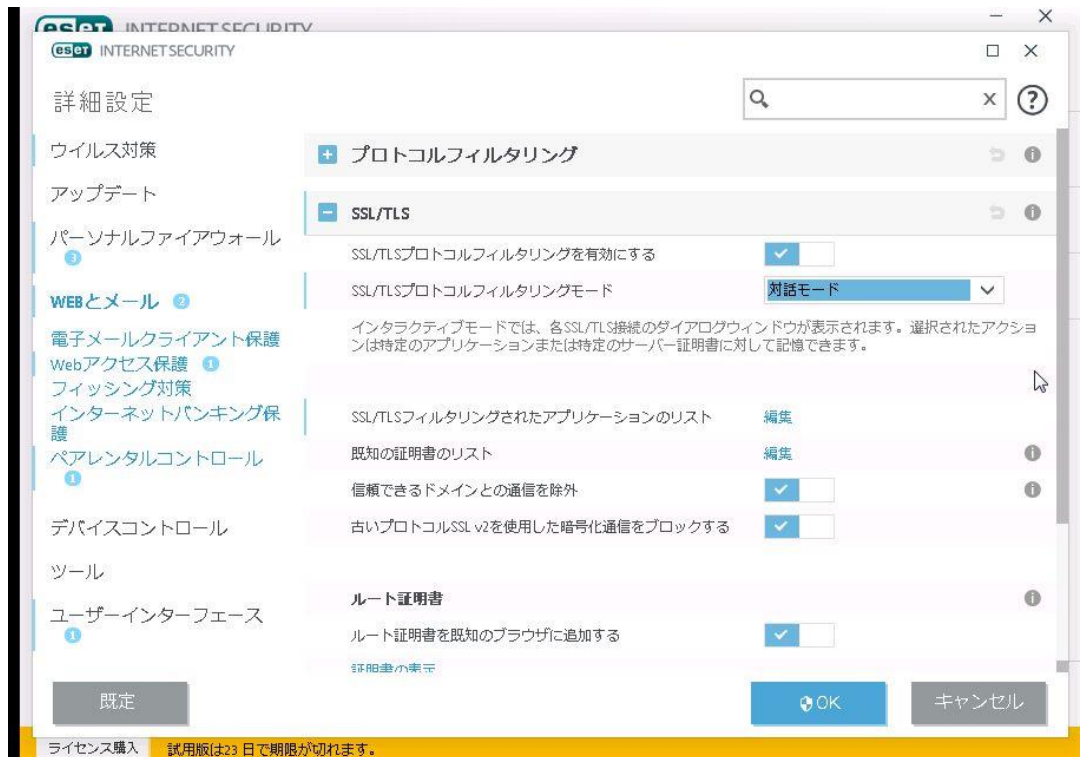
[回避策] 回避手順を実施する

[事象発生時の画面]

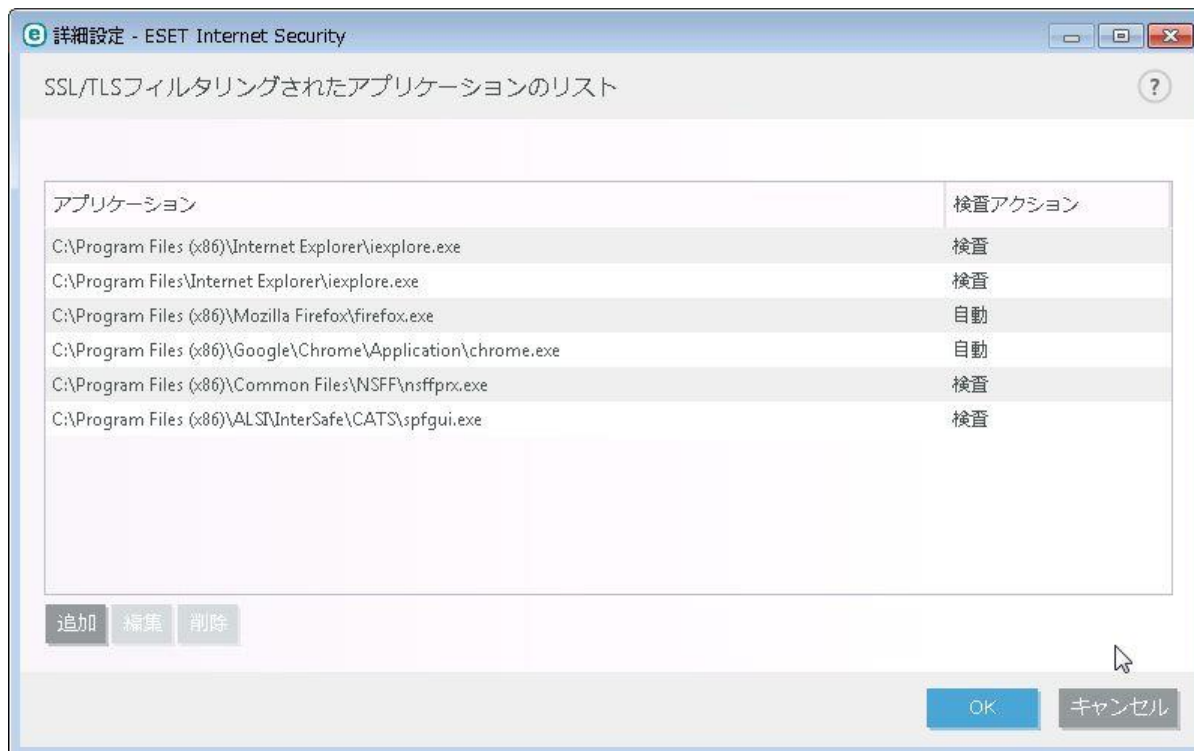


[回避手順]

- ① ESET パーソナル セキュリティの設定にて、設定 > インターネット保護 > Webアクセス保護
詳細設定 > WEBとメール > SSL/TLS にすすむ
- ② SSL/TLSプロトコルフィルタリングモードを [対話モード] に設定する



- ③SSL/TLSフィルタリングされたアプリケーションリストに [nsffprx] と [spfgui] を [検査アクション:検査] で追加する



【事象1】

リモートタスクを管理サーバから発行しても実行されない

[発生条件] CATSクライアントとWindows Intune同居時

[回避策] フィルタリング無効アプリケーションを有効にして、フィルタリング無効アプリケーションに以下を登録する
omsvchost2

【事象2】

Windows Intuneのインストールに失敗する

[発生条件] 次の順番でインストールした場合

- 1.CATSクライアント
- 2.Windows Intune

[回避策] フィルタリング無効アプリケーションを有効にして、フィルタリング無効アプリケーションに以下を登録する

omsvchost2

HTTPS除外ホストに以下を登録する

***manage.microsoft.com**

[事象発生時の画面]



【事象】

Skype(ストアアプリ版)でサインインに失敗する

[発生条件] **CATS**クライアントと**Skype**同居時

[回避策] フィルタリング無効アプリケーションを有効にして、フィルタリング無効アプリケーションに以下を登録する

skypeapp

skypehost

[事象発生時の画面]



【事象1】

iTunes/iCloudにAppleIDでのサインイン時に不正証明書ダイアログが表示される

[発生条件] CATSクライアントとiTunes/iCloud同居時

[回避策] HTTPSデコードの除外ホストにHTTPS証明書警告ダイアログ中に表記されている、セキュリティ証明書のアドレスを登録する
gsa.apple.com

[事象発生時の画面]

・ iTunes



・ iCloud



【事象2】

iTunes/iCloudにAppleIDでのサインイン時に不正証明書ダイアログが表示され、続行してもサインインに失敗する

[発生条件] CATSクライアントとiTunes/iCloud同居時

[回避策] HTTPSデコードの除外ホストに以下を登録する

*.apple.com

*.icloud.com

[事象発生時の画面]

